

グリーンスポーツ鳥取

平成17年度総会議事録

開催場所	湖山西地区公民館 大会議室		
開催日時	平成17年8月20日午後2時		
会員総数	62名		
出席会員数	36名		
内訳	本人出席	11名	
	委任状出席	25名	

1. 開会挨拶

スミス理事長により開会の挨拶があった。

1. 議長選出

定款の規定により会員谷尾洋介氏が就任し、本日の総会は定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議案の審議に協力を求め、審議に入った。

平成17年度事業報告

1. 活動報告及びグリーンフィールド運営状況

スミス理事長より去年よりも一般住民の利用、スポーツクラブ利用及び住民主導のイベント利用が順調に拡大して、天然芝生に対する誤解が解けたこと、行政も以前より緑化に対する姿勢が良くなっている結果、GSTが進めている芝生化支援事業が順調な進展をしていること、犬の放し飼いに関する苦情に対する「規制や看板を使わず、利用者のマナー向上に努めることを基本とする GST の対応を住民および行政が納得していること、GST の財務状況が相変わらず厳しいこと等の報告があった。

1. グリーンフィールドの整備及び芝生化支援活動

中野理事より夏芝の補修的な植え付け、冬芝のオーバーシーディング作業及びその後の維持管理の説明が報告された。

また、去年から始まった芝生化支援活動が県内外で順調に拡大しているとの報告があった。新しい取り組みとして、国土交通省と契約し（NPO との契約が全国初模様）河川敷の芝生化および維持管理を行っていることも報告されました。

1. EASE フットボールクラブ

代表寺坂理事の代理としてスミス代表から EASE クラブが単独で NPO 法人の資格を取得したこと、会員が順調に増え続けており、年齢別に 7 チームがあり、各々が週 2 回程度の練習とリーグ、交流、大会等の試合で良い成績を挙げているとの報告があった。また、GST が今年から日本体育協会の熱中症予防のためのガイドラインを厳守し、6月から8月まではグリーンフィールドを利用できない方針に対しては一定の理解を示しているものの、夏場を通じて開催される大会に出場している関係上練習が必要なチームにとっては都合が悪いことが指摘されました。

1. 湖山ラグビーフットボールクラブ

福田理事より 2005 年 9 月からのシーズンで県内外の相手と対外試合を 6 試合が行われ、

クラブとしての初勝利を含め、3勝3敗の成績を収めたこと、ジュニアの部も順調に会員を増やし、活動をしていること、転勤等で減少した成人会員数を伸ばすキャンペーン中であることが報告された。

1. 湖山西自治会との連携

住民団体主催のイベントや日々の憩いの場等、様々な観点で湖山西地区の生活の中心的役割を果たすようになったグリーンフィールドに対しては苦情がない訳ではありませんが、GSTが責任を持って管理に努めていることが確認でき、基本的には問題がないとの報告があった。

1. 決算報告

新理事より平成17年度の決算報告があった。今年からは非営利事業と収益事業と二つに分かれて計上しているとの説明があった。

1. 会計監査報告

法人の監査である井上氏より「諸帳簿及び証拠書類を監査した結果、適正且つ正確に処理されていることを認める」との報告があった。

1. 承認

特に質問及び異議がなく、17年度の決算報告及び監査報告が満場一致により承認された。

1. 理事の移動

理事の内、2名が一身上の都合により辞任し、後任に新たに2名が就任し、現在は定款の理事8名定数を満たしているとの報告があった。

平成18年度事業計画

1. 18年度の事業計画

当法人の目的である地域密着型スポーツクラブの育成の場として整備や維持管理を実施し、趣味として生涯スポーツに重心を置くサッカーとラグビークラブの会員をさらに増やし、同時にニュースポーツの普及に着目すること、地域住民の生活の中の「芝生の広場」の利用をさらに高めることによって、学校校庭・空き地芝生化の支援活動を活発にして行くことの報告があった。去年に引き続き、地元納涼祭やフリーマーケットが開催される他、鳥取大学フットボールクラブ主催のライブが行われる予定との報告があった。

1. 整備及び芝生化支援活動について

引き続き、痛んだ箇所の補修以外は芝刈を中心とした維持管理の継続と、グリーンフィールドの利用希望者（特に団体）に対しての協力をしていくべきであるとの報告があった。

今年の10月末に米子で開催される日本芝草学会の秋大会の中に校庭芝生部会に新たに設けられ、GSTが取り組んでいる芝生事例の発表と見学が盛り込まれることも報告された。

1. EASEフットボールクラブ

去年同様、年齢別のチームが出来、各レベルでのリーグ戦、大会出場、EASE主催の大会及びリーグ戦の参加を通じて、楽しみ重視と競技志向の両方を重ね備えたクラブ構造を目指し、2009年までに、会員目標300人を設定している。また、当広場に訪問する各種スポーツチームの代表者には芝生のグラウンド作りを促す努力もしていくとの報告があった。

1. 湖山ラグビーフットボールクラブ

9月からは第4シーズンを迎え、小中学生の会員を増やす活動をし、クラブの底辺拡大を図ると同時に、社会人レベルでは11月、12月にすでに県内外チームと交流試合が予定されており、試合を多くする計画があるとの報告があった。

1. 湖山西自治会との連携

今まで通り、自治会と密接に連絡を取りながら、様々な課題や問題に取り組んで行く姿勢が確認されました。湖山地区の学校校庭芝生化を進めるためにはどうしたら良いかについては考えて行きたいとの意見が出ました。

1. 18年度予算案

平成18年度の予算案が提出された。

1. 18年度役員について

現在の8理事で続ける事との報告があった。

1. 質疑応答

予算では芝生化支援事業の収入が支出を下回ることに対する質問があり、理事長より諸経費として計算している事業費の15%が少なすぎる可能性、また事業にならない相談や支援活動があり、これにかかる費用は回収できていないとの説明があった。いずれの課題を行政と話し合うつもりであることも帆説明された。

収益事業が課税の対象に成るかとの質問に対して、井上幹事より対象である返事があった。

それ以外の質疑はなかったため、18年度予算案が満場一致で承認された。

1. 議事録署名人

議長は、出席している会員の中から議事録署名人を指名したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場意義なく賛成があったため、次の者を議事録署名人に指名した。

会員	ニール スミス
会員	中野 淳一

以上で本日の議事を終了し、議長は午後3時30分に閉会を宣した。

1. 議長解任

決議事項等が終了したため、議長が解任された。

1. その他

谷尾会員より、厳しい財政状況を少し緩和する策として、年間数十万円の収入が見込まれるアルミ缶や古紙の廃品回収活動をしたらどうかとの提案が出た。既に実施している小学校等とぶつからないよう調整が必要との指摘があり、GSTが次回の理事会で協議することにした。

地元住民の参加者より大学よりの船着き場に捨てられるゴミ対策についての質問があり、この部分はGSTの契約には含まれていないものの引き続き会員の一人が草刈りをし、きれいに整備し、訪問者の常識を信じて行く姿勢が確認され、散歩に来られる方が自発的にゴミを拾う気持ちも大事であるとの答えがあった。

平成18年8月30日

特定非営利活動法人グリーンスポーツ鳥取年次総会において

議長	谷 尾 洋 介	印
会員	ニール スミス	印
会員	中 野 淳 一	印